

さくらと菊

学校教育目標：心豊かに自ら学び、たくましく生きる春日っ子の育成

令和8年1月16日(金)

No. 14

文責 校長 藤高 ちよ

令和8年スタート！今年もどうぞよろしくお祈いします。

保護者の皆様、地域の皆様、日頃から本校教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。令和8年がスタートしました。今年もどうぞよろしくお祈いいたします。

新しい年を迎えた3学期は、今の学年のまとめの時です。そして新しい学年に向けての準備の時でもあります。新しい年を迎えまとめと準備の3学期は、一人一人が輝く3学期にしてほしいと思っています。そこで3学期の始業式では、春日小3学期の目標について次のような話をしました。4月に撮影した正門脇の満開の桜の花の写真を見て、子どもたちに「この桜のつぼみである(花芽)はいつつくれるか知っていますか?」と尋ねました。

実は、前の年の夏につくられます。春に花を咲かせた後、夏には次の年の花を咲かせる準備を始めるのです。そして秋にはいったん活動や成長を停止させる休眠状態になるそうです。冬になると冬の低温で「花芽」が成長すると言われています。

では、現在の桜の木はどうなっていると思いますか。枝の先には、ふくらんだ花芽を観察できます。

大きく花を開かせるために、花を咲かせたあと夏には準備を始める桜、大きく花を咲かせるために厳しい寒さに耐える桜、自分自身を輝かせるために、寒さを力に成長する桜、この桜の姿から、自分自身に甘えず、難しいことや厳しいことにも挑戦し、自分自身の目標に向かって行動していくこと、そのための準備をがんばることが大事だと思ったことを伝えました。桜の様子とともに大谷翔平選手の「夢をもつことは素晴らしい、でもそれを実現するために行動することがもっと大事」という言葉を紹介し、考えたことを話しました。

○ (行動するためには)、自分や周りのこと、課題に気づくことが大切である。

○ (気づいたことから) 自分にできることを考え、行動にうつすことが大事。

そこで春日小の3学期の目標は、

寒くてインフルエンザも流行しやすいので、健康づくりに取り組みながら、自分ができることを一つずつ増やしていくために、

「自分やまわりの様子を見て、自分に何ができるか、どのようにすればできるかを考え、行動にうつすこと」

と伝えました。

何事にも頑張る力を生み出すには健康が大事です。健康は一日にしてならず。元気な体をつくることで、自分自身の将来の目標に向かうために自分には何ができるか考えて行動してみることもできます。

また、友達との関係の中でうれしいことや勇気づけられること、けんかして反省することなどいろいろなことが起こると思います。そんな気持ちに気づいたとき、どんなふうに考え、行動しますか? 良いことも悪いこともあるかもしれませんが、どんな時も、よりよくするために考え行動にうつしてほしいと思います。

3学期が終わるときに、自信をもってできるようになったことがたくさんあった。できなかったことが少しずつできるようになった。まだ難しいこともあるけど続けて頑張っていきたいと思うことができるようになってほしいと思います。

1月14日児童集会 保健委員会の発表がありました!

保健委員会の児童が春日小児童の課題である睡眠について、休日前に夜更かしすることや、寝る前のメディア接触についてなど状況を知らせた上で、睡眠の大切さや運動との関係、夜寝る1時間前にはメディア接触をしないことなどについて発表してくれました。感想交流では、「セロトニンが増えるとメラトニン王子も増えるので朝からたくさん運動しようと思いました」、「ノーメディアの大切さが前よりもよくわかりました」、「セロトニンを運動して増やして、夜ぐっすり寝ようと思いました」、「夜早く寝て、朝早く起きようと思いました」など自分自身で生活を整えたいという思いがたくさん聞かれました。1月26日から2月8日まで、すこやかチャレンジ(睡眠調査)を実施します。ご家庭でもご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



4月に撮影した正門の桜



1月6日に撮影した桜の枝

